

令和4年度 自己評価結果 一教職員一

認定こども園 藤枝橘幼稚園

自己評価を行う目的

- ・子どもに対する理解を深める
- ・保育実践の改善や充実を図る
- ・保育の専門性の向上を目指す

A…出来ているまたは満足 B…ほぼ出来ているまたはほぼ満足
C…やや出来ていないまたはやや不満 D…出来ていないまたは不満 該当なし…職種により該当しない

1、子ども理解と援助

	A	B	C	D	該当なし
子どもとのかかわりの中で、気づいたことを日々記録する	4	3	2	1	6
子供が成長した点や印象的なやり取りなどを、日々記録することが習慣化されてきた	4	2	1	1	8
毎日クラスの子全員と言葉を交わす	7	3	0	0	6
言葉数が少ない子どもには、こちらから積極的に声をかけるよう意識する事が出来た	6	7	1	0	2
子どもの発達段階や興味を理解し、時季に合わせて遊びこめる活動を展開していく	5	2	2	0	7
個々の特性を理解し一人一人の気持ちを受け止め寄り添う	6	6	2	0	2

2、保護者への対応

	A	B	C	D	該当なし
登園や降園時に積極的にコミュニケーションを図る	4	7	0	0	5
子どもの様子を見ながら、成長を感じたことなどを保護者に伝えるようにした	4	6	0	1	5
保護者の抱えている子育てにまつわる悩みに寄り添い、改善策を提案していく	2	5	2	1	6
送迎時など短い時間でも時間をつくり、また連絡帳等のやり取りで、家庭の状況を読み取れるよう意識した	2	4	1	0	9

3、職員とのかかわり	A	B	C	D	該当なし
職員会議などで気づいたことがあれば積極的に発言する	3	4	0	1	8
先輩の助言、同僚の意見を記録しながら心に留めておく	3	10	1	0	2
職員会議等職員間の会話の中で、自分の意見と照らし合わせながら改善点を見つける事が出来た	2	8	0	1	5
職員とのコミュニケーションや情報共有を密に行う	3	8	4	0	1
園の職員集団として、職員全員が気持ちよく働けるような行動を心掛けている	6	7	2	0	1

4、建学の精神・園目標・教育要領の理解	A	B	C	D	該当なし
園の建学の精神・園目標・4つの体力を理解している	3	6	5	1	1
「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の理解している	0	9	5	0	2
教育要領解説を手元に置き読み返している	0	4	6	3	3

5、地域の自然や社会とのかかわり	A	B	C	D	該当なし
地域の自然とのかかわり(散歩を積極的に行っている)	1	7	1	0	7
地域の人とのかかわり挨拶(送り、散歩等を通して)	4	6	0	0	6
地域の行事とのかかわり(小学校との接続等意識している)	1	4	0	0	11

6、スキルアップ	A	B	C	D	該当なし
研修・研究への参加、意欲、態度(学びのアンテナを持つ)	4	4	3	0	5
保育者としての専門性に関する研修、研究(書物を読む等)	3	8	2	0	3
達成可能な目標を立て日々それを意識して保育をし、自分の行動を振り返る習慣がついている	4	4	4	0	4

7、保育者としての資質と能力	A	B	C	D	該当なし
専門家としての能力・姿勢・義務(自信を持って)	6	5	4	0	1
保育の楽しみ・喜び(生き甲斐)	5	9	0	0	2
自己管理(新型コロナウイルス感染症等感染症対策含む体調管理)	7	7	1	1	0
施設・クラスの衛生に配慮し安全で安心な場であるよう努める	7	7	2	0	0
危機管理を意識し、ヒヤリハットが起こった場合は積極的に書面に記し振り返りをする	4	5	5	0	2